



# 市長と

# 車座トーク

## 第24回 竹尋学区（概要）



開催日時 2017年（平成29年）6月16日（金）

19:30～20:30

開催場所 竹尋公民館

参加者数 9人

次 第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



### <車座トークでの主なご意見>

- ・道路水路等の補修に関する要望を、神辺支所に提出した場合、支所はちゃんと見てくれるが、その後、どのように対応するのか報告がない。回答はいるが報告をしてほしい。
- ・竹尋学区は昨年で地滑り地区調査が全部済んだ。危険箇所については県の管轄ではあるが、地元から上がってきた事に対しては、市も住民が困っているということを県にしっかり伝えてほしい。
- ・去年の6月に大雨が降って、神辺東中学校の周りの田んぼがほとんど浸かった。排水機場を管理しており、早め早めの対策はしているが、みんな次に大雨が降ったらと心配している。市から県へ早めに要請を掛け、スムーズな対応が図られるよう、住民、市、県と協力してやっていきたいと思っている。

- ・八尋地区で、昨年6月の大雨の時に、子どもたちが学校に行くのに、ちょうど時間帯が重なった。中学校、高校は早々と休みになったが、小学校は、なかなか休校の指示が出なくて、見守りで誘導して、沼川のほとりの浸水した道を歩いて行った。中学校のように、早くこれは危ないから学校は休校とか、そういう措置をした方がいいのではと思う。
- ・土砂崩れの改修工事中の道があり、警備員が誘導してくれているが、中学校では、土日もクラブ活動があり、部によって集合時間や終了時間が異なり、警備員不在の時間等を通行するので、危ない面がある。また、もう一か所、よく子どもが通る場所で、ちょうどカーブになっていて、車がすれ違う時に自転車に乗った中学生がいたりすると、とても危ない場所があるので、なるべく早く工事をしてほしい。
- ・空き家について、市等で持ち主や管理者が分かるのではないかと。市に調査してもらって、持ち主に声掛けをすればどうかと思う。
- ・中学校給食が始まるという話しはだいぶ前から出ているとは思いますが、家の方が働きに行っているとか、経済的に難しいとか、ちょっとネグレクト気味だとかという家庭が、ここに限らずあると思うので、できれば、子どもたちみんなが、平等にお昼を食べられるように早くなったらいいなと思う。
- ・小学校の統廃合の話が出ているが、竹尋では夏祭りや運動会などがあって、小学校がコミュニティの中心的な役割をしている。統廃合されると、歩いて通うと今でも40分くらいかかるところが、1時間以上かかるので、できれば統廃合しないでほしい。
- ・上竹田は調整区域になっているので、新しく家が建てられない。調整区域の規制を緩和して、将来的には建物が建てられる状態にして、新しく人が入って来てくれれば、小学校の人数も増えるし、統廃合の話も無くなるのかなと思う。
- ・農業の後継者がいない。竹尋は桃の産地である。若い人が一人だけ、後を継いでやっているが、農協に出すだけでは生活できないと、インターネットを使って販売している。
- ・ファーム夕日の里という農業法人が竹尋にはある。圃場整理をして耕作するにはいい土地である。だけど、担い手がない。70歳代、80歳代の人々が主力である
- ・民生委員をやって10年になるので、早く辞めたいが、後継者がいない。70歳ぐらいまで勤務する人が多くっており、役員の成り手、後継者がいない。民生委員の仕事は行政とのつながりが多いので、NPO法人や、行政の指導で学校の先生や市役所のOBが民生委員を担えるかどうか考えることは非常にいい事だと思う。
- ・地域の役員の有償化を考えてあげたらいいかなと思う。活動したからじゃなくて、役職に対して、いくらか報酬を付けてあげるとかということも将来的には考えてあげないと、何もかもボランティアで、充て職も一杯あって、それでは成り手はもつとしない。
- ・誠和団地に3つの合併浄化槽があり、維持管理は町内会でやっている。施設の老朽化、住民の減少等により維持管理に頭を悩ませており、行政に移管することを検討してほしい。
- ・竹尋ボランティア団体「灯」では70歳以上の無配偶者にお弁当を作って、毎週水曜日に配達している。お金は一人当たり200円で、約30食作っている。活動費の支援について何か良い策はないか。

- ・子どもたちの遊び場や、お年寄りの集まる場が福山市にあまり無い。岡山の方にはたくさん遊び場があって、福山市にそういった場所が無いから、笠岡、井原の方へ行くのだが、公園類を是非、福山市ももっと力を入れて考えてほしい。御野地区や竹尋地区はいい場所だと思うので、もっと、子どもたちが自由に安全で遊べて集まれるような、若しくはレクリエーションができるような場所を是非お願いしたい。
- ・市長が一押しで言われているネウボラとはどんなものなのか。

### <市長のまとめ>

- ・去年の大雨を経験されていると、安全や安心に関わる要望がしっかりと市や県に届いているのか、その結果、どう対応してくれるのか、すぐには難しいにしても、とりあえずどういう風に地元としては受け止めればいいのかという報告が欲しいという気持ちはよく分かる。ましてや、安全に関わる話であれば、皆さん方の気持ちが強くなるというのはよく分かる。
- ・大雨の際、排水機場を管理されている方などと行政とが早め早めに連絡を取りあって、どういうタイミングで水路を閉じるのか開くのか、そういう決断をしなくてはいけないから、これからもよろしく願います。
- ・大雨などの休校について、小学校と中学校で対応が違うと、何も対応されていない所にお子さんを通わせている保護者は心配になるから、そこは連携の取れた対応が出来るようによく確認をする。
- ・通学路の工事箇所について、危険が無いように努めたいと思うし、もし、お願いができれば、中学校と小学校のPTAのみなさん方で相談をして、子どもさんが、よくその箇所を歩き来するような時間帯だけでもいいから、交代で誰か立ってもらって、安全のために協力をしていただく、行政もできる限りの事をし、地元もPTAも協力をする、そんな関係ができれば、より親御さんは安心するかもしれない。
- ・空き家の所有者を特定するのはとても難しいが、確定作業をしている。今年から宅建業協会と行政とが一緒に相談をして、借主を探す取組もしている。地域でも空き家になる前に、所有者の情報をお互いで共有してほしい。
- ・中学校給食は全面実施する。この夏過ぎまでに全体計画を作り、お示しする。必要に応じて給食センターも作らないといけないので、すぐに自分の所が給食になるかどうかは計画いかんによるので、ちょっと待ってもらってもいいかもしれないが、できるだけ早く実施する。
- ・子どもの数は、昭和55年と比べて4割減っている。竹尋はどうかというと、5年後には再編の問題をどう受け止めないといけないのか、という時期が来るであろう、そういう人口の減り方、生徒数の減り方をしている。地域の活性化の中心にあるのは子どもや学校だというのが今までの考え方。でも、それと同じような考え方でやっても、子どもが少なくなっているのが現実だから、少なくなったら、今までと同じ賑わいは出てこない。これから将来生きる私たちは、今までと違うことを考えていかないといけないと思う。
- ・調整区域の規制緩和の話のだが、元々は、乱開発があってはいけない、計画的な地域、人が住む所、或いは、それ以外の活動ができる所を効率的に分けようということやってきた。住み

方が変わってきたので、もう一回今考えているのが、立地適正化計画。昔とは違った土地利用の色分けをしていこうというのが今の時代の流れ。調整区域の規制緩和という形で取組むのか、新たに今作っている立地適正化計画の中で、荒地がすごく目立つような地域を少なくしていこうという取組みにつなげるのか、これからしっかりと、議論を一緒にしていきたいと思う。

- ・福山の地域では、様々な農業従事者、新規就農者の確保策に取り組んでいる。これはJAともいろいろ協力をしている。研修もしている。地産地消推進課に地域は何を望んでいるのか聞いてもらって、地域の希望にあった形でのアドバイスや、後継者をどうやって連れてくるのかということを是非相談してほしい。
- ・農地の貸借について、担い手を今、全国で公募している。インターネットで全国にどんどん発信している。その代わりに、何もメリットが無いと来てくれない。そういうところは、地域の皆さん方が協力してやらないと、全部行政やってくれ、JAやってくれという訳にはいかない。
- ・民生委員の後継者を確保するのが難しいということならば、竹尋に住んでいる人ではない、仮に外部の人に竹尋の民生委員の役を引受けてもらう、或いは、他地域のNPO法人にそういう役割を引受けてもらうのはどうか。
- ・どこの地域でも地域の役員の後継者がいないのが悩みであると聞く。それは共通の課題として私も考えていかないといけないと思う。役員の有償化の意見については考えてみる。
- ・浄化槽の維持管理については、補助金の交付をしている。仮に維持管理を行政で受け入れるとなった時に、経費全部を行政が持つ訳にはいかない。公共下水道にしても使用料を払って運用している。恐らく今よりも割高な使用料をいただきながら行政が管理をする。そういうやり方をする事が出来るのか、これは、竹尋でやると全地域にという事にもなるので、よく考えながら担当課で勉強させてもらう。
- ・地域のボランティア活動を支える財源の確保の仕方については、窓口となる課からご相談と情報提供させてもらう。
- ・公園等、福山市だけで全部を作るのではなく、笠岡、井原と一緒に融通し合うという時代なのかもしれない。もちろん、福山に大人と子どもが安心して時間を過ごせる施設が無くていいとは言わない。その可能性を考えていきたいと思う。
- ・ネウボラとは、フィンランドで100年間根付いている、子育てについての相談の場である。医療機関とも一緒になって、お母さんが妊娠して子育てを終えるまで、一貫して出来る限り同じ相談員さんが見守ってくれる子育て支援制度である。周知をしっかりとしていきたい。

### <地域からのあいさつ>

市長さんにこういう時間を作っていただいて、本当にありがとうございました。1時間という短い時間で、十分な議論もみなさん足らなかったかと思いますが、いろいろ知恵を貸していただきまして、竹尋地区の元気が出るまちづくりを目指して、みなさん方のご指導をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。